

夏場に多い“光化学オキシダント”と

- ◎…キラキラ照りつける太陽と大気の汚れがひき起こす“光化学オキシダント”。まだ、原因がはっきりつかめていないが、最近、全国各地に降って話題をまいている“酸性の雨”。
- ◎…ともに人間の目やのどを刺げきし、農作物に

も少なからず被害を与えています。

- ◎…光化学オキシダントといい、酸性の雨といい夏場に集中的に発生しますので、お互いに被害に合わないよう予防に心がけましょう。

“光化学オキシダント”が発生したら…

屋外での運動や作業を中止しましょう

光化学オキシダントの発生が予想されるとき、市は万全を期すため、いろいろな措置を講じるとともに、県が発令する緊急時の発令を広報無線などで、市民のみなさんに逐次お知らせして、注意を呼びかけますので、市民のみなさんや施設の管理者等はそれぞれの立場で次のような予防措置をとってください。

1. 一般的な予防措置

- (1) 目やのどに刺げきを感じたときは、洗眼やうがいなどを行い市衛生課または富士保健所へ連絡してください。
- (2) 学校や幼稚園、保育園などでは、注意報や警報が発令された

ときは、運動場や屋外での運動をただちに中止させてください

- (3) 一般市民の方も屋外での作業や活動をなるべく控えてください。
- (4) 動植物に異常を認めたときは市農政課、林政課およびみどりの課へ連絡し、相談してください。

2. 被害発生時および緊急時の措置

- (1) 人の健康に係る被害届があった場合、市衛生課と富士保健所は、被害者に保健指導を行うとともに、症状によっては消防署と連絡を取り、医療機関での診療を行います。

(2) 被害が発生した場合は、学校長、園長などは市衛生課長を通じて被害発生状況(時間、場所、症状、被害者数等)を市環境部長に報告してください。

(3) 動植物の被害状況も市農政課林政課、みどりの課を通じて環境部長に報告してください。



【のどに刺げきを感じたら…】

予報及び緊急時の発令基準と措置方法

●予報

大気汚染状態が、1時間値0.13 PPM以上になった場合、市は警戒体制をとると共に学校等に周知し、屋外活動の自しゅく等被害の防止につとめます。

●注意報

大気汚染状態が、1時間値0.15 PPM以上になった場合、市は広報無線で市民に周知するとともに緊急時協力要請工場に対し、燃

料使用量等を通常の使用量の20%以上削減するよう協力を要請し、該当地区内の自動車の運行の自主規制を使用者と運転者にお願ひします。

●警報

大気汚染状態が、1時間値0.30 PPM以上になった場合、緊急時協力要請工場の燃料使用量等を通常使用量の40%以上の削減を行うよう勧告し、自動車運行の自主

規制を求めます。

●重大緊急警報

大気汚染状態が、1時間値0.50 PPM以上になった場合、緊急時協力要請工場の燃料量等を通常使用量の40%以上の削減を行うよう命令し、自動車の運行について県公安委員会に対して道路交通法の規定による措置をとるよう要請します。

なお、これらの情報はテレビやラジオでも随時放送しますので、よく注意して聞きのがさないようにしましょう。

“酸性雨”の被害



◆オキシダント前日・当日予報放送時間

放送局名	前日予報		当日予報		備考	
	時間	番組名	時間	番組名		
テレビ	NHK	月～日 18:40	今日の静岡		0.13PPM以上の場合は字幕にて随時放映予定	
	SBS			月～金11:40 土・日 11:56		天気予報 静新ニュース JNNニュース 静新ニュース
	SUT			月～金10:45 土 11:40 日 11:56		ニュース 天気予報 天気予報
ラジオ	NHK	17:00	ニュース・天気予報 (A・Bのみ放送)			
	SBS			月～土10:57 日 10:23	天気予報 バックグラウンド ミュージック	

- A、発生するおそれがある (0.15PPM以上)
- B、発生しやすい (0.10PPM～0.15PPM)
- C、発生しない見込み (0.10PPM以下)

酸性の雨が降ったら…

小雨でもぬれないようにしましょう

昨年あたりから、雨にぬれて目が痛いなどの症状を訴える被害が全国各地で発生し、テレビや新聞などで「酸性降雨」として報道されています。国や県でも「酸性降雨」の発生

原因や被害発生の原因物質等について調査研究を進めています。現在のところその実態が十分に解明されておられません。

富士市でも、県に協力して常時雨

水の酸性度を測定するようつとめていますが、とりあえず「酸性降雨」の被害を防止するため、次のことに注意してください。

- 1、小雨等のときでも、必ず雨具を使用してください。雨水の酸性度は、小雨や霧雨のときが、とくに高い傾向にあるので、このような場合でも、必ず雨具を使用しましょう。
- 2、特に、オートバイ等での走行にあたっては、雨水が目に入らないようにしてください。
- 3、小雨や霧雨のような場合は、児童、生徒の屋外でのスポーツ活動はなるべく止めてください。
- 4、目やのどの痛みなどがあつたときは、洗顔やうがいをしてください。



【楽しく遊んでいても
小雨や霧雨が降ってきたらぬれないように…】